

# 院生ライフレポート

2024年

第2号(5月)

## ☆授業紹介(月曜日編)☆

入学して約1ヶ月が経ちました。授業や院生生活にも慣れ、現職、ストレートマスター（以下、ストマス）、そして異校種の壁を越えて、学生間の会話も大変活発になり、非常に有意義な時間を過ごすことができています。授業においては、様々な理論に触れ、演習やディスカッションを通して理解を深め、新しい学びを得ています。そこで、第2号では大学院1年生の月曜日の授業についてご紹介します。

### 2 限目 特別支援教育の基礎と課題 (小松原先生・中島先生)

この授業では、様々な理論を学ぶとともに、特別支援教育の課題を捉えていきます。子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、必要な支援を行うために、授業の中では、実際に疑似体験等を含めた演習やグループワークを通して理解を深めています。先日は、知能検査や発達検査に用いられる「WISC-IV」や「KABC-II」などを実際に使いながら学習を進めました。



### 3 限目 授業づくりと学級経営の基礎と課題 (米田先生・竜田先生)

写真は、数学における授業づくりの講義で、ペットボトルキャップの総数の調べ方を考えている様子です。ストマス、現職が一緒になったグループに分かれ、意見を出し合っています。この授業では、授業づくりと学級経営に関する基礎理論を学び、それぞれテーマを決めました。そのテーマについて調べ、演習発表の「学級づくりハンドブック」の作成に向けて学びを深めているところです。



### 4 限目 教育経営の基礎と課題 (平田先生・松尾先生)

授業の中で、「教員評価とメリットペイ」の発表を行っている様子です。この授業では、「多文化主義教育の諸相」についての理解を深め、教育経営に関連する具体的改革事項について、ストマスと現職のペアで発表します。さらに、グループワーク、全体討議の中では、先生方も交えて活発な議論を行っています。



編集：H&M